

1. 教学関係

(1) 海外研修

1. イタリア研修

日本で学んだヨーロッパの文化について、現地の社会と芸術に直接触れることにより更に見識を深め、実技レッスンやアンサンブル等の授業を本学研修所で集中的に受講することにより、学生各自の感性・芸術性等の向上を目的として実施している。

2021（令和3）年度は、2020（令和2）年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響により海外での実習を中止し、日本国内における代替研修により実施した。

	2021（令和3）年度 実績	参加人数
海外研修Ⅰ（必修）		
長期A団（ピアノ）	日本国内で代替研修を実施	25名
長期B団（声楽）	日本国内で代替研修を実施	31名
海外研修Ⅱ（選択）		
ヨーロッパ実技	中止	
海外研修Ⅳ（選択）		
ヨーロッパ見学	中止	

※ 新型コロナウイルスの影響により代替研修を行ったため、イタリア研修所の利用はなかった。

2. 英語研修（必修）

「英語研修」はアートマネジメントコースおよび舞台スタッフコース必修科目として実施している。

2021（令和3）年度は新型コロナウイルスの影響により、2020（令和2）年度に引き続き、例年実施している福島県における語学研修施設での実施を変更し、本学内で劇団ホワイトホース・シアターによる英語演劇ワークショップを英国とのリモートにより実施した。

3. アートマネジメント・舞台スタッフヨーロッパ研修（選択）

例年アートマネジメントコースおよび舞台スタッフコースの選択科目「海外研修Ⅱ」として、また、大学院修士課程の「海外研修Ⅴ」（個人研修）、「海外特別研修①②」として合同で実施している。イギリスとイタリアの芸術関連施設や美術館等を訪問・見学し、現地の舞台関係者による特別講義を実施している。2021（令和3）年度も、2020（令和2）年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響により中止となった。

4. バレエロンドン研修（選択）

例年、大学・短大のバレエコース合同で「海外研修Ⅱ」、「海外研修Ⅴ」の選択科目として実施している。2021（令和3）年度も、2020（令和2）年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響により中止となった。

5. ミュージカル実技研修（選択）

例年、ニューヨークの総合ダンススクール「ステップス」及び「BDC」でダンスのレッスンを中心に実施している。2021（令和3）年度も、2020（令和2）年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響により中止となった。

6. ニューヨーク見学研修（選択）

例年、「海外研修ⅡD」として開講し、ミュージカル実技研修「海外研修ⅡC」と同日程でニューヨーク市内見学を中心とした研修として実施している。2021（令和3）年度も、2020（令和2）年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響により中止となった。

海外研修Ⅰ（声楽3年生）代替課題

	項目	内容	講師
課題1	イタリア課題 レポート提出 ※オンデマンド	①美術講座 「ローマ～都市と美術」※	宮崎克己教授
		②美術講座 「フィレンツェとヴェネツィア～都市と美術」※	宮崎克己教授
		③文化講座 「愛と欲望のヨーロッパ①」※	有田栄教授
		④文化講座 「愛と欲望のヨーロッパ②」※	有田栄教授
		⑤講 座 「実演舞台芸術の国際交流のこれから①」	エルネスト・バラッショ先生
		⑥講 座 「実演舞台芸術の国際交流のこれから②」	ベルンハルト・ケレス先生
課題2	遠隔 実技レッスン	右記の指定された招聘講師の遠隔レッスンを1人30分×5回受講。	アンナ・ヴァンディ先生 パオラ・チーニャ先生 ラファエラ・ミラネシ先生 ジャンルーカ・パゾリーニ先生
	成果発表会	受講曲をユリホールで演奏	(学内関係者以外、非公開)
課題3	特別講座	イタリアの音大生との文化交流	ミッショ・フランチェスカ非常勤講師 声楽専任教員
		イタリア食文化について	マッテオ・インゼオ先生
		光岡暁恵 トーク&コンサート	光岡暁恵非常勤講師
		新国立劇場 公演事業課長による特別講座+バックステージツアー	声楽部会専任教員 演出非常勤講師
		新国立劇場 舞台演習	伴奏非常勤講師
課題4	ピアノ・声楽 合同講座	①「音楽聴取方法の激変とミュージックビジネスの今後」	森川卓夫客員教授
		②「ライブ配信スキル修得のための実践講座 ～研究編～」	森川卓夫客員教授、森篤史専任講師
		③「ライブ配信スキル修得のための実践講座 ～実践編～」	森川卓夫客員教授、森篤史専任講師
		④「本番をライブ配信・収録しよう」(ユリホール)	森川卓夫客員教授、森篤史専任講師
課題5	右記の公演等 のオペラ公演 を1つ鑑賞 レポート提出	1) 新国立劇場「チェネレントラ」	
		2) 新国立劇場「ニュルンベルクのマイスタージンガー」	
		3) 新国立劇場「蝶々夫人」	
		4) 新国立劇場「さまよえるオランダ人」	
		5) 新国立劇場「愛の妙薬」	
		6) 新国立劇場「椿姫」	
		7) 藤原歌劇団「イル・トロヴァトーレ」	
		8) ベルカントオペラフェスティバル「ジュリエッタとロメオ」	

海外研修Ⅰ（ピアノ3年生）代替課題

	項目	内容	講師
課題1	イタリア課題 レポート提出 ※オンデマンド	①美術講座 「ローマ～都市と美術」※	宮崎克己教授
		②美術講座 「フィレンツェとヴェネツィア～都市と美術」※	宮崎克己教授
		③文化講座 「愛と欲望のヨーロッパ①」※	有田栄教授
		④文化講座 「愛と欲望のヨーロッパ②」※	有田栄教授
		⑤講 座 「ポーランドの地政学的な位置づけと音楽に与えた影響」	角南篤先生
		⑥講 座 「マルタ騎士団の歴史と役割」	ファブリツィオ・ポツァート先生
課題2	遠隔 実技レッスン	右記の指定された招聘講師の遠隔レッスンを1人60分×3回受講。	M・リサク先生 P・バナシク先生 S・コンチャル先生 K・ナドルスカ先生 S・カスプロフ先生
	室内楽	アンサンブル実習	菅野博文非常勤講師（チェロ） 山岸彩子非常勤講師（チェロ） 淵野日奈子合奏研究員（ヴァイオリン）
	成果発表会	受講曲（ソロ and アンサンブル各1曲）をユリホールで演奏	（学内関係者以外、非公開）
課題3	特別講座	自主企画コンサート「ピアノで巡る世界旅行」	鍵盤楽器部会専任教員
		オルガン・チェンバロ特別講座	渥美昌明楽器室職員（調律師）
課題4	ピアノ・声楽 合同講座	①「音楽聴取方法の激変とミュージックビジネスの今後」	森川卓夫客員教授
		②「ライブ配信スキル修得のための実践講座 ～研究編～」	森川卓夫客員教授、森篤史専任講師
		③「ライブ配信スキル修得のための実践講座 ～実践編～」	森川卓夫客員教授、森篤史専任講師
		④「本番をライブ配信・収録しよう」（ユリホール）	森川卓夫客員教授、森篤史専任講師
課題5	右記いずれか 2つを鑑賞 レポート提出	1) 神奈川フィルハーモニー管弦楽団 定期演奏会第372回	
		2) ラファウ・ブレハッチ ピアノ・リサイタル	
		3) エフゲニー・キーシン ピアノ・リサイタル	
		4) 東京交響楽団 川崎定期演奏会 第83回	
		5) 東京交響楽団 川崎定期演奏会 第84回	
		6) ミューザ川崎シンフォニーホール&東京交響楽団 名曲全集第174回	
		7) 昭和音楽大学 第28回コンチェルト定期演奏会	
		8) ショパン国際ピアノコンクール2021（ライブ配信）	

(3) 2021年度 芸術特別研究 実施演目一覧

【分野区分】 A：音楽公演 B：舞台公演 C：日本古典芸能公演

日程	曜日	名称	会場	分野区分	備考
4月10日	土	アルテリカブレ 2021若きアーティストたちの響演 ～昭和音楽大学同侪会とともに～	ユリホール	A	
4月11日	日	アルテリカブレ 2021若きアーティストたちの響演 ジャズ・ポピュラーライブ～昭和音楽大学同侪会とともに～	新百合21ホール	A	
4月24日	土	〈アルテリカしんゆり2021 オープニング公演〉 日本オペラ協会 & 藤原歌劇団公演 「魅惑の美女はデスゴッデス！」「ジャンニ・スキッキ」	ジーリオ	B	
4月24日	土	学長裁量経費講座第1回レクチャーコンサート 「Love and Death —愛ゆえに死す」	C511教室	A	
4月25日	日	〈アルテリカしんゆり2021 オープニング公演〉 日本オペラ協会 & 藤原歌劇団公演 「魅惑の美女はデスゴッデス！」「ジャンニ・スキッキ」	ジーリオ	B	
4月29日	木・祝	アルテリカ 読響・N響 Wコンサートマスターズ・コンサート	ユリホール	A	
5月1日	土	アルテリカ 国府弘子スペシャルトリオ ～ Piano Party 2021 ゲスト：露崎春女 & 早稲田桜子	川崎市麻生市民館	A	
5月3日	月・祝	アルテリカ トリオ・リベルタ コンサート 「天使と悪魔」ピアノ生誕100周年記念	ジーリオ	A	
5月8日	土	アルテリカ 昭和音楽大学アートマネジメントコース 企画制作演習企画公演 Vol.1 JAZZ 春の陣 - しなやかに華ひらく	新百合21ホール	A	
5月15日→ 6月12日	土	アルテリカ スターダンサーズ・バレエ団公演 ピーター・ライト版「 Coppélia」	ジーリオ	B	
5月15日 ～6月13日	各回毎	舞台「アカシアの雨が降る時」	六本木トリコロールシアター	B	
5月16日→ 6月13日	日	アルテリカ スターダンサーズ・バレエ団公演 ピーター・ライト版「 Coppélia」	ジーリオ	B	
5月18日	火	推薦演奏会①	ユリホール	A	
5月27日	木	テアト・ジーリオ・シヨウ・オーケストラ学内発表会 ①	ジーリオ	A	
6月1日	火	作曲学科作品発表	ユリホール	A	
6月5日	土	昭和音楽大学吹奏楽団定期演奏会	ジーリオ	A	
6月5日	土	歌舞伎（日本伝統音楽演習との乗入れ）	国立劇場	C	中止
6月6日	日	歌舞伎（日本伝統音楽演習との乗入れ）	国立劇場	C	中止
6月8日	火	推薦演奏会②	ユリホール	A	
6月10日→ 6月17日	木	テアト・ジーリオ・シヨウ・オーケストラ学内発表会 ②	ジーリオ	A	
6月18日	金	しんゆりジャズスクエア	川崎市アートセンター アルテリオ小劇場	A	
6月19日	土	しんゆり寄席	川崎市アートセンター アルテリオ小劇場	C	

【分野区分】 A：音楽公演 B：舞台公演 C：日本古典芸能公演

6月23日	水	教員・研究員研究発表④	ユリホール	A	中止
6月26日	土	室内合奏団定期演奏会	ユリホール	A	
7月4日	日	吹奏楽特別演奏会 ※ペーシッパ・バンド→ ウインドオーケストラ回のみ対象	ジーリオ	A	
7月10日	土	テアトロ・ジーリオ・シウワ・オーケストラ定期演奏会	ジーリオ	A	
7月15日	木	テアトロ・ジーリオ・シウワ・オーケストラ学内発表会 ③	ジーリオ	A	
9月16日→ 11月16日	木	テアトロ・ジーリオ・シウワ・オーケストラ学内発表会 ④	ジーリオ	A	
9月21日→ 11月2日	火	雅楽（日本伝統音楽演習との乗り入れ）	ユリホール	C	
9月23日→ 2022年3月 15日	木・祝 →火	第2回シェイクスピア・レクチャーコンサート	C511教室	A	中止
9月24日	金	しんゆりジャズスクエア	川崎市アートセンター アルテリオ小劇場	A	中止
9月25日	土	しんゆり寄席	川崎市アートセンター アルテリオ小劇場	C	中止
10月9日	土	大学オペラ公演	ジーリオ	B	中止
10月10日	日	大学オペラ公演	ジーリオ	B	中止
10月12日	火	推薦演奏会③	ユリホール	A	
10月14日	木	テアトロ・ジーリオ・シウワ・オーケストラ学内発表会 ⑤	ジーリオ	A	
10月18日	月	教員・研究員研究発表②	ユリホール	A	
10月20日	水	室内楽定期演奏会	ユリホール	A	
10月21日	木	テアトロ・ジーリオ・シウワ・オーケストラ学内発表会 ⑥	ジーリオ	A	
10月23日	土	しんゆり寄席	川崎市アートセンター アルテリオ小劇場	C	
10月26日	火	学長賞声楽コンクール（本選）	ジーリオ	A	
11月6日	土	コンチエルト定期演奏会①	ジーリオ	A	
11月7日	日	コンチエルト定期演奏会②	ジーリオ	A	
11月12日	金	作曲学科作品・研究発表	ユリホール	A	
11月12日	金	しんゆりジャズスクエア	川崎市アートセンター アルテリオ小劇場	A	
11月13日	土	しんゆり寄席	川崎市アートセンター アルテリオ小劇場	C	
11月23日	火	管弦楽団定期演奏会	ジーリオ	A	

【分野区分】 A：音楽公演 B：舞台公演 C：日本古典芸能公演

11月27日	土	音大オーケストラ・フェスティバル	東京芸術劇場	A	
11月30日	火	推薦演奏会④	ユリホール	A	
12月2日	木	電子オルガン定期演奏会	ユリホール	A	
12月5日	日	昭和ウインド・シンフォニー定期演奏会	ジーリオ	A	
12月7日	火	ウインドシンフォニーコース実習発表会	ジーリオ	A	
12月9日	木	アートマ自主企画公演 Cinema Jazz	ユリホール	A	
12月11日	土	メサイア	ジーリオ	A	
12月17日	金	スターダンサーズ・バレエ団公演バレエ「ドラゴンクエスト」	ジーリオ	B	
12月18日	土	スターダンサーズ・バレエ団公演バレエ「ドラゴンクエスト」	ジーリオ	B	
12月18日	土	しんゆり寄席	川崎市アートセンター アルテリオ小劇場	C	
12月29日	水	テアトロ・ジーリオ・ショウ・オーケストラ第九演奏会	ジーリオ	A	

(2)演奏会 (テアトロ・ジューリオ・ショウワ・オーケストラ)

2021年度実績

< 本学主催 >

月日	曜日	名称	会場	来場者数
5月27日	木	第1回学内発表会 (学内・出演関係者のみ)	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	98
6月17日	木	第2回学内発表会 (学内・出演関係者のみ)	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	113
7月10日	土	第23回定期演奏会	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	348
7月15日	木	第3回学内発表会 (学内・出演関係者のみ)	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	128
10月14日	木	第5回学内発表会 (学内・出演関係者のみ)	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	76
10月21日	木	第6回学内発表会 (学内・出演関係者のみ)	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	61
11月6日	土	第28回コンチェルト定期演奏会 (協賛:伸和コントロールズ株式会社、客席削減)	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	<345>
11月7日	日	第28回コンチェルト定期演奏会 (協賛:伸和コントロールズ株式会社、客席削減)	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	<453>
11月16日	火	第4回学内発表会 (当初9/16(木)より変更、学内・出演関係者のみ)	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	32
12月29日	水	第九演奏会	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	1,023
3月5日	土	第24回定期演奏会	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	444
8月8日	日祝	フェスタ・サマーミュージアムKAWASAKI2021 (オンライン配信あり) 昭和音楽大学管弦楽団×テアトロ・ジューリオ・ショウワ・オーケストラ	ミュージアム川崎シンフォニーホール	外部主催

< 外部主催公演 >

月日	曜日	名称	会場
4月24日	土	日本オペラ振興会設立40周年記念 日本オペラ協会&藤原歌劇団公演 《魅惑の美女はデスゴッデス!》《ジャンニ・スキッキ》	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
4月25日	日	日本オペラ振興会設立40周年記念 日本オペラ協会&藤原歌劇団公演 《魅惑の美女はデスゴッデス!》《ジャンニ・スキッキ》	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
5月11日	火	藤原歌劇団公演《蝶々夫人》全2幕	昭和女子大学人見記念講堂
6月12日	土	スターダンサーズ・バレエ団公演《コッペリア》全3幕	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
6月13日	日	スターダンサーズ・バレエ団公演《コッペリア》全3幕	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
6月25日	金	藤原歌劇団-NISSAY OPERA2021公演《蝶々夫人》全2幕	日生劇場
6月26日	土	藤原歌劇団-NISSAY OPERA2021公演《蝶々夫人》全2幕	日生劇場
6月27日	日	藤原歌劇団-NISSAY OPERA2021公演《蝶々夫人》全2幕	日生劇場
9月5日	日	OPERA NOVELLA 第10回記念公演《椿姫》全3幕	ハーモニーホール座間
9月12日	日	文化庁 大規模かつ質の高い文化芸術活動を核としたアートキャラバン事業 スターダンサーズ・バレエ団公演《ドラゴンクエスト》	愛媛県県民文化会館(愛媛県)
10月29日	金	文化庁 大規模かつ質の高い文化芸術活動を核としたアートキャラバン事業 2021「ランドオペラフェスティバル」藤原歌劇団《蝶々夫人》全2幕	下関市民文化会館(山口県)
11月27日	土	スターダンサーズ・バレエ団公演《くるみ割り人形》全2幕	テアトロ・ジューリオ・ショウワ

月日	曜日	名称	会場
11月28日	日	スターダンサーズ・バレエ団公演《くるみ割り人形》全2幕	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
12月17日	金	スターダンサーズ・バレエ団公演《ドラゴンクエスト》	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
12月18日	土	スターダンサーズ・バレエ団公演《ドラゴンクエスト》	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
12月23日	日	稲城市民オペラ公演 ホレティックコンサート《椿姫》と《蝶々夫人》 ～小説原作の2つの名作オペラ～	稲城市中央文化センターホール
1月8日	土	文化庁 大規模かつ質の高い文化芸術活動を核としたアートキャラバン事業 スターダンサーズ・バレエ団公演《ドラゴンクエスト》	彩の国さいたま芸術劇場（埼玉県）
1月9日	日	文化庁 大規模かつ質の高い文化芸術活動を核としたアートキャラバン事業 スターダンサーズ・バレエ団公演《ドラゴンクエスト》	彩の国さいたま芸術劇場（埼玉県）
1月16日	日	文化庁 大規模かつ質の高い文化芸術活動を核としたアートキャラバン事業 スターダンサーズ・バレエ団公演《ドラゴンクエスト》	鳥取県立倉吉未来中心（鳥取県）
1月23日	日	ニューイヤーコンサート第10回ベートーヴェン交響曲第9番「合唱付」 (公演型式の変更に伴いジューリオオケの参加無し)	伊勢原市民文化会館大ホール
1月30日	日	文化庁 大規模かつ質の高い文化芸術活動を核としたアートキャラバン事業 スターダンサーズ・バレエ団公演《ドラゴンクエスト》	滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール（滋賀県）
3月17日	木	ベルカント・オペラ・フェスティバル・イン・ジャパン2021 藤原歌劇団×ヴァッレ・ディトリア（マルティナ・フランカ）音楽祭提携公演 《ジュリエッタとロメオ》全2幕	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
3月19日	土	ベルカント・オペラ・フェスティバル・イン・ジャパン2021 藤原歌劇団×ヴァッレ・ディトリア（マルティナ・フランカ）音楽祭提携公演 《ジュリエッタとロメオ》全2幕	テアトロ・ジューリオ・ショウワ

(3)生涯学習講座・提携事業

2021年度実績

<本学主催>

月日	曜日	名称	会場	受講者数
通年	土・日	ピアノ指導法講座〈オンライン講座〉	(オンライン)	69
7月18日	日	音楽療法講座【「生きる」ことと「音楽」―音楽療法の視点から―】 第1回 J-popに学ぶ「指針」―歌詞に潜む精神性を読み解く―	南校舎C511	35
7月25日	日	大学オペラ公演プレ講座 第1回「《コジ・ファン・トゥッテ》の原作をめぐる」	南校舎C511	35
11月21日	日	音楽療法講座【「生きる」ことと「音楽」―音楽療法の視点から―】 第2回「歌に生き、歌で生き」―発声、呼吸、嚥下機能と音楽療法―	南校舎C511	41
3月13日	日	音楽療法講座【「生きる」ことと「音楽」―音楽療法の視点から―】 第3回 病気・障害と共にハッピーに生きる―音楽療法の視点から―	南校舎C511	35
11月14日	日	音大で学ぶ!! コンピュータ講座 音楽・楽譜制作講座〔Finaleを使って〕 (当初予定9/4(土)より変更)	南校舎C411	10
11月20日	土	音大で学ぶ!! コンピュータ講座 デジタル作編曲講座	南校舎C411	8
10月27日	火	特別授業一般公開―日本伝統音楽演習「雅楽」 (非公開)	ユリホール	公開中止
10月23日	土	大学オペラ公演プレ講座 第2回 教養講座「オペラ《コジ・ファン・トゥッテ》の楽しみ方」 (大学オペラ公演中止に伴い講座趣旨を変更、当初予定9/19(日)より変更)	南校舎C511	12
10月2日	土	教養講座 2時間で学ぶ作曲家2021～ブラームスとドヴォルジャーク～ 第1回【ブラームス①】 シューマンとの出会い ～作曲家としての成功を求めて (当初予定9/18(土)より変更)	南校舎C511	29
11月6日	土	教養講座 2時間で学ぶ作曲家2021～ブラームスとドヴォルジャーク～ 第2回【ブラームス②】 ブラームスと「クラシック音楽」の確立 (当初予定10/2(土)より変更)	南校舎C511	27
11月20日	土	教養講座 2時間で学ぶ作曲家2021～ブラームスとドヴォルジャーク～ 第3回【ドヴォルジャーク①】 「チェコ」の音楽家から「ヨーロッパ」の音楽家へ	南校舎C511	26
12月11日	土	教養講座 2時間で学ぶ作曲家2021～ブラームスとドヴォルジャーク～ 第4回【ドヴォルジャーク②】 国際的な名声に包まれて ※演奏付き	南校舎C511	30
10月25日	月	令和3年度 文化庁 大学における文化芸術推進事業・アートマネジメント人材育成事業 「実演舞台芸術プロデューサー養成講座」講座A〔公開講座2回〕 「世界へ発信する実演舞台芸術のこれから」	テアトロ・ジーリオ・ショウワ (録画配信)	51
11月3日	水祝	公開講座/オンライン講座 (録画配信型講座)	南校舎C511 (録画配信)	36
9月4日	土	令和3年度 文化庁 大学における文化芸術推進事業・アートマネジメント人材育成事業 「実演舞台芸術プロデューサー養成講座」講座B〔全4回〕	(オンライン/録画配信)	オンライン
9月18日	土	「実演舞台芸術とICT」 オンライン講座&ワークショップ (同時双方向型/録画配信型講座)	(オンライン)	オンライン
8月31日	火			
9月7日	火	令和3年度 文化庁 大学における文化芸術推進事業・アートマネジメント人材育成事業 「実演舞台芸術プロデューサー養成講座」講座C〔講座4回〕	(オンライン)	オンライン
9月13日	月	「オペラの制作過程を学ぶ」～制作スタッフのためのオンライン講座		
9月27日	月			

<共催>

月日	曜日	名称	会場
認定NPO法人かわさき市民アカデミー			
5月～7月	火	プッチーニの世界 ～ラ・ボエームとトゥーランドットの魅力に迫る～ 5/18・25, 6/8・15・22, 7/6	ラ・サーラ・スカラ
9月～12月	水	「喜劇オペラの楽しみ」 9/28, 10/19, 11/2・16・30, 12/21	ラ・サーラ・スカラ
月日	曜日	名称	会場
株式会社 プレラーディオ			
通年	-	オペラ歌手と日本の名曲を歌う会（全12回） 4/22、5/20、6/17 ※7/20、8/24、9/28、10/27、11/25、12/21、1/20、2/21、3/23 中止	ユリホール
6月20日	日	SHOWAミュージック・カフェ2021① オーディション選出者によるコンサート	ユリホール
8月21日	土	藤原歌劇団 Quattro Aria サマーコンサート2021 中止	ユリホール
10月3日	日	～あなたも名演奏家～おとなのコンサート Vol.25 中止	ユリホール
11月20日	土	SHOWAミュージック・カフェ2021② 中止	ユリホール
12月5日	日	藤原歌劇団 Quattro Aria クリスマスコンサート2021	ユリホール
3月5日	土	～あなたも名演奏家～おとなのコンサート Vol.26 中止	ユリホール
3月13日	日	SHOWAミュージック・カフェ2021③ 中止	ユリホール

<提携事業>

新冠町提携事業（新冠町／北海道）	
1. 音楽団体演奏クリニック （オンラインで実施）	
2. 新冠町&昭和音楽大学パートナーシップコンサート、アウトリーチコンサート	中止
かわさきジュニア・オーケストラ（公益財団法人川崎市文化財団）	
	中止

3. 研究所関係

(1)オペラ研究所

昭和音楽大学オペラ研究所は、昭和音楽大学の建学の精神に基づき、総合芸術たるオペラおよびその関連領域について研究することを目的とする。

【2021 年度研究員】

所長

石田 麻子 昭和音楽大学教授

研究員 (五十音順)

五十嵐 麻利江 昭和音楽大学教授

井ノ上 了吏 昭和音楽大学教授

大仁田 雅彦 昭和音楽大学教授

折江 忠道 昭和音楽大学客員教授

岸田 生郎 昭和音楽大学客員教授

仁科 岡彦 昭和音楽大学教授

酒井 健太郎 昭和音楽大学准教授

鈴木 とも恵 昭和音楽大学准教授

吉原 潤 昭和音楽大学准教授

小畑 恒夫 昭和音楽大学客員教授

袴田 麻祐子 昭和音楽大学嘱託研究員

●2021 年度活動内容

① 日本国内におけるオペラ団体の活動実態調査と資料収集

音楽評論家の関根礼子氏を中心に、日本国内におけるオペラ団体の活動実態調査と資料収集を継続して行った。蓄積した情報は、『日本のオペラ年鑑』編纂に活かされるほか、オペラ関係者の要望に応じて提供される。

② 『日本のオペラ年鑑 2020』の編纂・刊行

本学の石田麻子教授を編纂委員長とし、日本国内で行われたオペラ公演についての記録と分析記事を掲載する『日本のオペラ年鑑 2020』を編纂・刊行した。本事業は平成8年度から継続的に行われているもので、本年度は文化庁委託事業「令和3年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」として本学が受託した。

【編纂委員 (五十音順、敬称略)】

石田 麻子：昭和音楽大学オペラ研究所所長・教授、独立行政法人日本芸術文化振興会プログラム
ディレクター (調査研究分野) 〔編纂委員長〕

江藤 光紀：筑波大学人文社会系准教授

小畑 恒夫：昭和音楽大学客員教授

関根 礼子：音楽評論家、本学オペラ研究所嘱託研究員、公益財団法人三菱 UFJ 信託芸術文化財団
理事

堀内 修：音楽評論家

【執筆者】

大田美佐子：神戸大学大学院准教授

③ オンラインデータベース『オペラ情報センター』の運営

文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業（平成 24～28 年度）により構築したオンラインデータベース『オペラ情報センター』へのデータ入力について、文部科学省の補助事業としては平成 29 年度で終了となったが、当研究所の事業として継続して入力を実施し、データの拡充を行った。

④ 公益財団法人新国立劇場運営財団の展示に関する調査及び監修業務の受託

・特別展示 [日本の現代舞台芸術]

同展示は日本のオペラ、舞踊、演劇の近代から現代までの流れを世界の主な動きや事件と連動させて概観するもので、当研究所はオペラ部門の監修を行っており、平成 29 年度より新国立劇場オペラパレスおよび同劇場 Web ページにて公開中である。今年度は劇場内の展示脇のタブレットで見られる、年表の時代ごとのトピックをまとめた読み物について調査・監修業務（執筆）を受託した。

・リヒャルト・ワーグナー作曲『ニュルンベルクのマイスタージンガー』関連展示

新国立劇場でのオペラ『ニュルンベルクのマイスタージンガー』上演にちなんだ、同劇場情報センター閲覧室の公演関連展示（2021 年 11 月 18 日（木）～12 月 12 日（日））について当研究所は展示核の調査・監修業務を受託し、展示写真の選定、展示物の提供をするとともに、吉原研究員がキャプション・解説を執筆した。

⑤ 新国立劇場との提携

本学が公益財団法人新国立劇場運営財団と交わした研究成果やデータの相互貸与に関する覚書を今年度も更新した。

(2)バレエ研究所

昭和音楽大学バレエ研究所は国内唯一の大学附属バレエ研究機関として平成 18 年に設立された。国内外におけるバレエ教育やバレエ界の状況等について調査・研究を行うことが目的である。本年度は文化庁委託事業（次代の文化を創造する新進芸術家育成事業）「日本のバレエ教育に関する全国調査」、日本バレエ団連盟委託調査事業「新進バレエダンサー・バレエ団運営スタッフ育成、並びに次世代の観客育成に向けた調査」、横浜市委託調査事業等を行った

【2021 年度研究員】

所長

小山 久美 昭和音楽大学短期大学部 教授

研究員

岩部 純子 昭和音楽大学 専任講師

尾崎 瑠衣 昭和音楽大学・短期大学部 非常勤講師

勝川 史憲 慶應義塾大学スポーツ医学研究センター 教授

	昭和音楽大学・短期大学部	非常勤講師
小尻 健太	昭和音楽大学・短期大学部	非常勤講師
杉本 亮子	昭和音楽大学・短期大学部	非常勤講師
村山 久美子	昭和音楽大学・短期大学部	非常勤講師

バレエ研究所アドヴァイザー（五十音順）

石井 清子	東京シティ・バレエ団	評議員
海野 敏	東洋大学社会学部メディアコミュニケーション学科	教授 舞踊評論家

● 2021 年度活動内容

① 国内バレエ環境調査：文化庁委託事業「日本のバレエ教育に関する全国調査」

日本全国のバレエ教育を対象とした唯一の全数調査である「バレエ教育に関する全国調査」を実施し、報告書とリーフレットを作成した。調査期間は令和3年4月から令和4年3月までである。本調査は5年に1度実施され、今回で3回目である。全国4,489件のバレエ教室に調査票を配布し、1,554件の回答を得た。回収率は過去最高の回収率34.6%である。本調査を通じて日本におけるバレエ学習者総数は推定25.6万人であり、バレエ教室総数は推定4,260件であることなどが明らかとなった。前回の調査結果はメディアや政策立案の場等で利用されているため、本年度の調査結果も幅広く活用されることが見込まれている。

調査結果は関係各所1,600件に配布し、またバレエ研究所ウェブサイト上に掲載したほか

https://www.tosei-showa-music.ac.jp/balletresearch/work/newfolder/index_3_copy.html SNS

でも広く公開しており、大きな反響を得た。

② デジタルアーカイブ「バレエアーカイブ」の整備とデータ拡充

文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業（2015年度～2019年度）でバレエ研究所が構築した、日本におけるバレエ公演のデジタルアーカイブ「バレエアーカイブ」の運営を行った。本年は検索不具合等の修正等、利用者にとってさらに便利なサイトを構築するために、さまざまな修正を行った。

③ 日本バレエ団連盟受託事業「新進バレエダンサー・バレエ団運営スタッフ育成、並びに次世代の観客育成に向けた調査」の再委託（継続事業）

バレエ研究所は日本バレエ団連盟より調査・研究等を委託され、令和3年5月から令和4年3月まで以下のプロジェクトを行った。

(1) 「海外実演団体運営状況調査」

海外のバレエ団や芸術団体がいかに社会情勢の変化や新型コロナウイルスをめぐる状況に対応しているのかについて調査を行った。海外メディアでの報道を基に毎週、2,400字程度のレポートを作成し、加盟団体にEメールで送信した。本調査はタイムリーに各国の状況を知ることができるとして、加盟団体から高い評価を受けており、バレエ団運営の現場で活用されている。来年も3年目として本事業を継続する予定である。また調査をまとめた報告書の執筆も行った。

(2) バレエ公演データ整備

日本バレエ団連盟に限らず、プロフェッショナルとして活動しているバレエ団による日本での公演状況の調査・データ整備を行った。日本バレエ団連盟に加盟するバレエ団の公演詳細をデータ化し、報告書を執筆した。加盟団体から過去に開催されたバレエ公演プログラムの寄贈を受け、それをデータ化した。本年度は 208 件の公演をデータ化した。

(3) 「子どもたちのバレエ鑑賞体験による影響に関する調査」

バレエ公演やバレエのワークショップが子どもたちの情操教育にどんな効果があるのかについてのインパクト調査であり、バレエ団が学校公演で赴いた小学校でアンケート調査を行った。全国計 7 校の小学校で、1,188 人の生徒らにアンケートを行い、結果を分析した上で、報告書とリーフレット作成を行った。バレエ研究所は調査の統括や調整業務を行った。

④ 横浜市「新たな劇場における人材育成機能」調査業務

横浜市からの委託調査である。本事業では国内外におけるダンサー育成状況を調査し、それを比較することで、日本におけるダンサー育成の課題を分析した。基礎調査報告書 105 ページと課題分析報告書 10 ページを作成し、提出した。本事業は令和 3 年 4 月から開始し令和 4 年 3 月に完了する予定であったが、令和 3 年 8 月に行われた横浜市長選挙の結果を受け、令和 3 年 9 月で完了となった。

(3)舞台芸術政策研究所

昭和音楽大学舞台芸術政策研究所は、舞台芸術政策・マネジメントに関する調査・研究と提案・発信を行うことを目的に、平成 25 年 1 月に設置。関係機関と密接な連携を図りながら、専門的見地からの舞台芸術に関するデータの収集・分析と振興方策の提案を行い、わが国の舞台芸術の発展に寄与する。

【2021 年度研究員】

所長

石田 麻子 昭和音楽大学教授

研究員

大仁田 雅彦 昭和音楽大学教授

仁科 岡彦 昭和音楽大学教授

酒井 健太郎 昭和音楽大学准教授

吉原 潤 昭和音楽大学准教授

岸田 生郎 昭和音楽大学客員教授

蕪澤 弘志 昭和音楽大学客員教授

赤木 舞 昭和音楽大学非常勤講師

●2021 年度活動内容

【神奈川県日本博関連事業に対する評価業務の受託】

神奈川県が日本博事務局との共催事業として実施した日本博関連事業「カガヤク ミライ ガ ミ

エル カナガワ2021」の評価業務を受託した。本事業は8月にリアル開催の予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、YouTube等での映像配信開催に切り替えられたものである。当研究所は評価完了報告書への助言を行い、また石田所長が報告書に記載する事業評価のコメントを執筆した。

【第39回FACP2021のオンライン大会に参加(中止)】

期日：2021年10月30日(土)～11月2日(火)

会場：韓国・大邱市 大邱オペラハウス(ガバナーズ・ミーティング、パンデミック後の文化事業についてのフォーラム、オンライン公演)

【日本音楽芸術マネジメント学会の運営】

① 第13回夏の研究会(※登壇者の肩書は当時のもの/参加者のべ180名余)

《あらたな文化芸術のステージを展望する～音楽創造の現場から》

オンライン開催(Zoomウェビナー)

日程：2021年8月21日(土)13:00～17:30

「コロナ禍でも、芸術文化をあきらめない」—日本各地からの現状報告

基調講演「文化政策を地方から展望する」

林健次郎 愛知県芸術劇場 広報・マーケティング部長/名古屋芸術大学 客員教授/

JaSMAM 幹事

事例発表

北海道 ①渡辺史子 (公財)パシフィック・ミュージック・フェスティバル(PMF) 組織委員会 事業課長

関鎖京 北海道教育大学岩見沢校芸術・スポーツビジネス専攻 准教授/ JaSMAM 理事

東北甲信越 ②中嶋奈津子 佛教大学総合研究所 特別研究員/岩手県文化財保護審議会委員

関西 ③山本佳誌枝 (公財)山本能楽堂 事務局長

四国 ④柴田俊幸 たかまつ国際古楽祭 芸術監督/フラウト・トラヴェルソ奏者

中国・九州 ⑤濱島亮太 シンフォニア岩国 指定管理者サントリーパブリシティサービスグループ 事業担当

青井雄二 (公財)のべおか文化事業団 事務局長/延岡総合文化センター 館長

壬生千恵子 エリザベト音楽大学 教授/JaSMAM 幹事

オブザーバー 林健次郎

司会 森岡めぐみ (公財)神戸市民文化振興財団事業部 演奏担当部長/ JaSMAM 理事

日程：2021年8月22日(日)13:00～16:00

オンライン開催(Zoomウェビナー)

主催者ごあいさつ

中村孝義 (学) 大阪音楽大学 理事長・名誉教授/JaSMAM 理事長

文化庁長官ごあいさつ

都倉俊一 文化庁長官

基調講演「文化芸術基本法」制定 20 年と「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」制定 10 年を迎えるにあたって」

矢野和彦 文化庁次長

パネルディスカッション

パネリスト

堤正浩 (公財) ジェスク音楽文化振興会 専務理事

中村よしき 劇場、音楽堂等連絡協議会 副会長 / (公財) 東京都歴史文化財団 東京芸術劇場

堀田栄作 (公社) 関西二期会 事務局長 / JaSMAM 理事

矢野和彦 文化庁次長

モデレーター

石田麻子 昭和音楽大学 教授 / 文化審議会文化政策部会委員 / JaSMAM 理事

② 第 14 回冬の研究大会 (※登壇者の肩書は当時のもの / 参加者約 170 名)

日時: 2022 年 2 月 6 日 (日) 9:00~18:00

オンライン開催 (Zoom)

9:00~16:20 研究発表 17 本

16:30~18:00

パネルディスカッション《劇場法 10 年に際して、指定管理者制度について考える—公立財団、民間事業者の立場から》

主催者挨拶 中村孝義 (学) 大阪音楽大学 理事長・名誉教授/JaSMAM 理事長

ディスカッション

【登壇者】 朝田賢次 (株)JTB コミュニケーションデザインエリアマネジメント部 西日本事業局営業第一課長

永井健一 (公財) 鎌倉市芸術文化振興財団 / 元・神奈川県立音楽堂館長 / JaSMAM 理事

【モデレーター】 石田麻子 昭和音楽大学教授 / JaSMAM 理事

【総合司会】 森岡めぐみ (公財) 神戸市民文化振興財団事業部 演奏担当部長 / JaSMAM 理事

③ 学会誌・会報の発刊

学会の刊行物の編集作業を担い、学会誌『音楽芸術マネジメント第 13 号』を 12 月に、学会会報 26 号・27 号を 7 月・1 月に刊行した。

(4) 歌曲研究所

昭和音楽大学歌曲研究所は、歌曲資料の収集及び演奏法の研究を目的とする。

【2021 年度研究員】

所長

井ノ上 了吏 昭和音楽大学教授

研究員

五十嵐 麻利江 昭和音楽大学教授

酒巻 和子 昭和音楽大学教授、音楽研究科長

中村 佳子 昭和音楽大学短期大学部教授

的場 辰朗 昭和音楽大学教授、音楽学部長

柴山 昌宣 昭和音楽大学准教授

鈴木 とも恵 昭和音楽大学准教授

廣田 美穂 昭和音楽大学短期大学部准教授

藤原 海考 昭和音楽大学短期大学部准教授

2021 年度活動内容

1) 歌曲研究会

① イタリア語唱法研究部会研究会

「イタリアルネッサンス・初期バロックの声楽作品」

日 時：2021 年 11 月 22 日（月）18:30~20:00

※新型コロナウイルス感染拡大の影響で 9 月 13 日より延期して開催した。

場 所：ユリホール

講 師：上杉 清仁（カウンターテナー歌手/本学非常勤講師）

金子 浩（リュート奏者/外部講師）

歌 唱：上杉 清仁、修士課程 1 年生 2 名

リュート：金子 浩

内 容：(講義)声楽史に触れる・モノディ様式の誕生・通奏低音について・作曲家紹介

(講師演奏) G.カッチーニ「翼をもつ愛の神よ」

「愛の神よ、何を待っているのだ」

G.フレスコバルディ「それでは、これからもひたすらに」

C.モンテヴェルディ「アリアンナの嘆き」*リュートソロ

(公開レッスン) G.フレスコバルディ「そよ風吹けば」

C.モンテヴェルディ「かつて貴女のすべてが私のものだった」

② 日本語唱法研究部会

2 月~3 月の開催を検討していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で 2020 年度同様に 2021 年度も開催を見送った。

2) 高校生のための歌曲コンクール

平成12年度から実行委員会形式で開催してきた本コンクールを、平成15年度より昭和音楽大学の主催とし音楽教育研究所の研究課題として実施してきた。

今年度は、従来の「声楽部門」に新たに「ミュージカル部門」を加えて2部門にて開催した。新型コロナウイルス感染症の影響で予選・本選ともにビデオ審査にて開催した。

1. 過去の参加者数

平成12年度(第1回) 198名、平成13年度(第2回) 249名
平成14年度(第3回) 259名、平成15年度(第4回) 258名
平成16年度(第5回) 248名、平成17年度(第6回) 258名
平成18年度(第7回) 240名、平成19年度(第8回) 199名
平成20年度(第9回) 172名、平成21年度(第10回) 179名
平成22年度(第11回) 151名、平成23年度(第12回) 203名
平成24年度(第13回) 231名、平成25年度(第14回) 224名
平成26年度(第15回) 193名、平成27年度(第16回) 174名
平成28年度(第17回) 189名、平成29年度(第18回) 204名
平成30年度(第19回) 205名、令和元年度(第20回) 216名
令和2年度(第21回) 127名、令和3年度(第22回) 178名(声楽127名/ミュージカル51名)

2. 令和3年度(第22回)実施概要

①予選(ビデオ審査)

【声楽部門】・日程:2021年7月25日(日)

- ・方法:予選審査曲(イタリア歌曲1曲を録画したビデオによる審査)
- ・会場:南校舎教室
- ・応募:127名(女声104名 男声23名)

【ミュージカル部門】・日程:2021年7月27日(火)28日(水)

- ・方法:自由曲1曲を歌唱する場면을収録したビデオによる審査
- ・会場:北校舎教室
- ・応募:51名(女声48名 男声3名)

②本選(ビデオ審査)

【声楽部門】・日程:2021年8月21日(土)

- ・審査:イタリア歌曲・日本歌曲より任意の歌曲各1曲を録画したビデオによる審査
- ・会場:南校舎教室
- ・参加者:44名(女声38名、男声6名)
- ・表彰:優秀賞6名/奨励賞15名

【ミュージカル部門】・日 程：2021年8月22日（日）

- ・ 審 査：自由曲・課題曲（1966年までに初演されたミュージカル作品の中から任意の1曲）より各1曲を録画したビデオによる審査
- ・ 会 場：南校舎教室
- ・ 参加者：22名（女声21名、男声1名）
- ・ 表 彰：優秀賞3名／奨励賞5名

(5)アートマネジメント研究所

アートマネジメント研究所は、アートマネジメントに関する領域の研究および関連分野の研究を目的としており、「アートマネジメント研究部会」、「コミュニケーションセンター」の2つの部門で活動している。

【2021年度研究員】

所長

古橋 祐 昭和音楽大学教授

研究員

石田 麻子 昭和音楽大学教授

仁科 岡彦 昭和音楽大学教授

酒井 健太郎 昭和音楽大学准教授

吉原 潤 昭和音楽大学准教授

岸田 生郎 昭和音楽大学客員教授

武濤 京子 昭和音楽大学客員教授

蕪澤 弘志 昭和音楽大学客員教授

森川 卓夫 昭和音楽大学客員教授

布目 藍人 昭和音楽大学非常勤講師

● 2021年度活動内容

【アートマネジメント研究部会】

アートマネジメント研究部会は、研究員それぞれが自身の研究活動や共同研究をベースに、時事的なテーマに基づいた研究発表・研究会を行っている。2021年度は、以下の研究活動および「音楽芸術運営研究 No.15」を発行した。今年度は、上記に加え大学院博士課程に在籍する学生の研究発表も行われた。また、新型コロナの勢いが収まらない中、オンライン（Zoom）を利用し、全国各地で活躍する卒業生を繋ぎ研究会を開催した。

1. 研究発表・研究会の実施

研究発表：

令和3年7月14日（水） 「動画（音楽を含む）を作成してネットにあげるための基礎知識」

令和3年12月1日（水） 「ワーグナー『ニュルンベルクのマイスタージンガー』日本初演（1960年）について」

令和4年1月12日(水) 「中国のオーケストラに対する公的支援制度の研究」

(博士課程1年 楊帥)

研究会：オンラインにより開催

令和4年3月17日(木) 「「2020年→2022年 コロナ禍で何が起きたのか」

～事業運営の視点からみる、これまでとこれから」Vol.1 劇場・音楽堂では何がおきたのか

2. 「音楽芸術運営研究 No.15」の発行

研究員の研究活動報告や論文をまとめた「音楽芸術運営研究 No.15」を発行し、関係大学、文化庁、その他の関係機関に配布した。

3. 受託研究

「一般財団法人川崎新都心まちづくり財団」の研究調査事業の一環として「新百合ヶ丘のまちづくりに対する文化・芸術の貢献の研究」を日本映画大学と共同受託し、2021年10月に中間報告書を提出した。

【コミュニケーションセンター】

昭和音楽大学コミュニケーションセンター(SCC)は、「アーツ・イン・コミュニティ」プログラムの運営とそれに伴う研究活動を行っている。

「アーツ・イン・コミュニティ」プログラムは、川崎市麻生区を中心に、学生によるアウトリーチ活動等の音楽芸術交流活動を通して、地域貢献と学生自身の成長を実現し、社会性を持った音楽人の育成を行う取組みである。平成18年度文部科学省「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」(現代GP)に選定され、平成20年度より正規授業としてカリキュラム化され(科目名「音楽活動研究①、②、③、④」)、平成23年度よりキャリア関連科目としても位置付けられた。

SCCでは、「音楽活動研究」の授業の全般的な運営、派遣依頼受入れの可否の検討と依頼元への連絡・交渉、学生の演奏・指導派遣のコーディネート、広報活動等を行った。

1. 「音楽活動研究」の授業運営

- ・音楽活動研究分科会と連動した「音楽活動研究①②④」の授業の全般的運営
- ・「音楽の贈り物」公演制作・実施(下記4に記載)

2. 演奏指導活動派遣

- ・川崎市内小学校3校(麻生養護学校(打楽器アンサンブル)、東大島小学校(打楽器アンサンブル)王禅寺中央小学校(計2回 木管アンサンブル、金管アンサンブル))
 - ・川崎市教育委員会事業2事業(下記3に記載)
 - ・麻生区役所保健福祉センター事業1事業(下記4に記載)
 - ・麻生老人福祉センター(ピアノ連弾、弦楽四重奏)
- (合計8件)

活動数：演奏活動6回、教育指導活動2回

3. 川崎市教育委員会事業：1事業

- ・「2021年度ジュニア音楽リーダー育成事業」 吹奏楽指導

日時： 令和3年6月13日(日)、6月20日(日)

会場： 昭和音楽大学 南校舎 教室 等

- ・「2021年度ヤングかわさきジョイフルバンド事業」 吹奏楽指導

日時会場： 令和3年12月26日（日） 川崎市教育文化会館

令和4年1月8日（土） 宮前区民館

4. 麻生区役所地域みまもり支援センターとの連携事業：1事業

・「音楽の贈り物～音楽の森へようこそ！～」

日 時： 令和3年11月20日（土）14:00～16:00

場 所： 昭和音楽大学 南校舎1階 C101 スタジオブリオ、他

5. 広報活動：専用ホームページ、ブログの運用 他

(6)音楽療法研究所

音楽療法研究所は、音楽療法に関する領域の研究および関連分野の研究を目的とする。

音楽療法研究所は、年間テーマは昨年度から引き続き、「新しい生活様式を踏まえた音楽療法」とし、講師を招いて研究会を開催した。

音楽療法ディベロップメントの人材開発事業としては、卒業年次の異なる卒業生を招いてシンポジウムを開催した。さらに、音楽療法アーカイブ事業では、研究会講師にインタビューをおこなった。教材開発事業として、学生が音楽療法活動のために作曲した曲集作成に向け、楽譜を収集した。

また、研究所紀要として2011年度から発行してきた「音楽療法研究」は、2021年度において第11号となった。

【2021年度研究員】

所長

羽石 英里 昭和音楽大学教授

研究員

萩原 かおり 昭和音楽大学教授

二俣 泉 昭和音楽大学准教授／日本音楽療法学会副理事長

白川 ゆう子 昭和音楽大学専任講師

伊藤 啓子 昭和音楽大学客員教授

青木 久美 昭和音楽大学非常勤講師

今村 ゆかり 日本音楽療法学会常任理事／昭和音楽大学非常勤講師

大山 祥子 昭和音楽大学非常勤講師

杵鞭 広美 桐朋学園大学准教授／昭和音楽大学非常勤講師

小柳 玲子 昭和音楽大学非常勤講師

田原 ゆみ 昭和音楽大学非常勤講師

深野 広美 昭和音楽大学非常勤講師

三浦 優佳 昭和音楽大学非常勤講師

アドヴァイザー

松井 紀和 昭和音楽大学客員教授／日本臨床心理研究所所長／

精神科医師
村林 信行 日本音楽療法学会常任理事／昭和音楽大学客員教授／
精神科医師

● 2021 年度活動内容

2021 年度は、以下の(1)～(4)にわたる事業をおこなった。

(1) 研究所主催研究会の開催

例年、音楽療法の専門家を招聘し、外部音楽療法専門家および音楽療法を学んでいる学生たちにも広く門戸を開いた公開講座（学生・学内関係者無料、同侪会音楽療法部会会員 500 円、他大学生・外部専門家 1,000 円）を実施していたが、感染症拡大下において本年度は学外には開かず、研究員および学部生・修士の学生のみ聴講可とし、同時双方向型のオンラインと対面型のハイブリッド形式で研究会をおこなった。

- 講師：加藤美知子氏（日本音楽療法学会常任理事）
- 日時・会場：2022 年 2 月 12 日（土）13:00～15:00 C313 教室
- 対象：音楽療法研究所研究員、音楽療法コース学部生、修士学生
- テーマ：音楽療法士の成長とキャリア形成

(2) 音楽療法研究所紀要『音楽療法研究』の発行

2021 年度で発行 11 年目を迎えた。研究員らによる研究成果や活動報告を記載した他、後述の音楽療法ディベロップメントのキャリア支援講座で実施した、卒業生によるシンポジウムの逐語録を掲載した。

(3) 「音楽療法ディベロップメント」事業の開催

1. 人材開発 キャリア支援講座

①卒業年次の異なる卒業生を招き、シンポジウムを開催した。音楽療法の働き方や、大学や大学院で学んだ経験が仕事にどう活かされているかを討論した。

- パネリスト：学部 卒業生 2 名、修士課程 修了生 1 名
- 指定討論者：二俣泉准教授
- 司会：羽石英里所長
- 日時・会場：2021 年 10 月 17 日（日）13:00～14:30 C511 教室
- 対象：音楽療法研究所研究員、音楽療法コース学部生、修士学生

②音楽療法コース 4 年生と大学院修士課程 2 年生のうち日本音楽療法学会認定音楽療法士(補)資格試験および日本音楽療法学会認定音楽療法士資格試験（実技・面接）を受験する学生をメインの対象とした対策講座をおこなった。

2. 教材開発研究

音楽療法実習の中で使用しているオリジナル楽曲（歴代のもの）曲集としてまとめて形に残すことを目的とし、昨年度に引き続き作業をおこなった。本年度は学生が残した手書きの楽譜を収集し、順次データ化（楽譜作成）をおこなった。また、本年度は実習を含め、様々な形で「新しい生活様式を踏まえた」オンラインでの音楽療法臨床をおこなったため、その記録 VTR やノウハウを新たに蓄積した。

3. 音楽療法アーカイブ

音楽療法のパイオニアにインタビューなどをおこない、貴重な証言や資料の収集・保管を行った。

①インタビュー（1）

- インタビュイー：加藤美知子氏（日本音楽療法学会常任理事）
- 日時・会場：2022年2月12日（土）15:30～18:00 C313教室
- インタビュアー：二俣泉、羽石英里、白川ゆう子

②インタビュー（2）

- インタビュイー：泉山中三氏（昭和音楽大学元教授）
- 日時：2022年3月7日（土）14:00～16:00
- インタビュアー：羽石英里、深野広美

(7)音楽教育研究所

研究所は、幼児教育（導入期）から大学等における音楽専門教育及び関連領域について、特に鍵盤楽器及びソルフェージュに関し国際的視野に立って調査研究することを目的とする。

【2021年度研究員】

所長

江口 文子 昭和音楽大学教授

研究員

石田 麻子 昭和音楽大学教授

川染 雅嗣 昭和音楽大学教授

鈴木 二美枝 昭和音楽大学短期大学部教授

飯田 佐恵 昭和音楽大学准教授

石川 亮子 昭和音楽大学准教授

豊住 竜志 昭和音楽大学准教授

林田 枝実 昭和音楽大学准教授

森 篤史 昭和音楽大学短期大学部専任講師

奥村 晃博 昭和音楽大学客員教授

岸田 生郎 昭和音楽大学客員教授

林 真砂子 昭和音楽大学非常勤講師

益田 トッシュ 昭和音楽大学非常勤講師

満江 菜穂子 昭和音楽大学専任講師

角南 篤 昭和音楽大学音楽教育研究所特別研究員

● 2020年度の実施内容

○「推薦音楽会」

附属音楽・バレエ教室の4歳～高校3年生までのピアノ・声楽・弦・管・打楽器等を専攻している生徒のうち、オーディションにて選出された生徒を出演対象として「推薦音楽会」を開催している。実力のある優秀な生徒の幼少期から中高生までの演奏力・技術力等の成長について研究課題としている。令和3年度に関しては2月20日に開催、オーディションに出演した51名のうち38名が参加した。

○「特別レッスン」

附属音楽・バレエ教室の生徒のうち、前年度の推薦音楽会出演者及び前年度の特別レッスン受講者を対象に大学教員が定期的にレッスンを実施している。音楽・バレエ教室の進学コースに在籍している高校2年生以上で本学への進学を希望している者のうち、主科実技担当講師が本学の兼務教員でない生徒については、本人の希望により特別レッスンを受講した。

主な研究内容は、レッスン内容・指導法、受講している生徒の音楽的・テクニクの上達度となっており、その研究成果を踏まえ、どのように大学生に還元していくのかを検討している。

令和3年度における受講者は17名（ピアノ11名、ヴァイオリン4名、クラリネット1名、サソフォン1名）であった。

○「プラスワン講座」

附属音楽・バレエ教室で開催するピアノのグレード制度「ステップアップ」の審査に付してミニ講座・ミニコンサートを実施している。さまざまなテーマを用いて音楽を幅広い年齢層のピアノ学習者に多角的に伝えることを研究課題としているが令和3年度に関してはコロナ禍において感染拡大防止の観点から実施を見送った。

(8)ピリオド音楽研究所

ピリオド音楽研究所は、ピリオド音楽およびピリオド演奏の研究を目的とする。

【2021年度研究員】

所長

有田 栄 昭和音楽大学教授

研究員

築瀬 進 昭和音楽大学・短期大学部 学長

藤田 真頼 昭和音楽大学准教授

森田 学 昭和音楽大学准教授

黒田 隆 昭和音楽大学客員教授

江崎 浩司 昭和音楽大学非常勤講師

菊池 奏絵 昭和音楽大学非常勤講師

満江 菜穂子 昭和音楽大学非常勤講師

宮村 和宏 昭和音楽大学非常勤講師

● 2021 年度実績

・2021 年 3 月 17 日(木) オンライン研究会

『"ピリオド音楽"への招待』

内容／「ピリオド音楽」あるいは「ピリオド演奏」とは何か。その概念は実は明確ではない。かつての「古楽」「古楽演奏」という呼び名に代わって「ピリオド」が使われるようになるとともに、その意味するものは大きく変質しつつある。音楽史そして演奏史の中でつねに揺れ動き続ける「ピリオド」とは何かを考察した。

進行：有田 栄（教授／所長）

会場：オンライン会議システム「Zoom」にて実施

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、1 回のみで開催となった。

4. 附属教室関係

(1)附属音楽・バレエ教室

2021 年度において幼児（2 歳）から中高年層まで幅広い年齢層を対象として音楽・バレエ教室を展開している。教室は新百合ヶ丘校（大学内）、小田原校、センター北校、本厚木校、藤沢校、戸塚校、仙台校、武蔵小杉校の 8 校。2022 年 3 月時点において約 3,500 名が在籍している。

音楽の各分野では幼児音楽教育、ソルフェージュ、選科（ピアノ、弦・管・打楽器、声楽、作曲）、大人の音楽レッスン（選科と同科目）、忙しい方のための音楽レッスン（選科と同科目）、ポピュラー音楽、電子オルガンでアンサンブル、大人の連弾、ジャズピアノ、のんびりジャズピアノ、ギターアンサンブル、グループヴォーカル、ウェイクアップヴォーカル、ヴォーカルトレーニング、ジャズヴォーカル、カンツォーネ、シャンソン、爽快ベルカント、青春のポップスコラス、童謡を歌おう、日本語で歌おう、楽しくオペラを歌おう、歌声サロン、発声から始める歌謡曲、文化箏、二胡、ウクレレ等のコース、並びに舞台芸術の分野ではバレエ、ミュージカル、ミュージカルヴォーカル、ジャズダンス、キッズダンス、ダンシング・フラ、大人のストレッチ、等、また、教養講座としてイタリア語コースや朗読サロンコースなどがある。令和 3 年度より弦楽アンサンブルコースジュニアクラス、支援が必要な方のための音楽（アダージョ）コースを開設。

2021 年度においてはコロナウイルス感染防止対策のために 9 月において休講の措置を行ったものの、10 月からレッスンを再開するとともにオンライン・レッスンの活用等によって対策を講じた。また、1 月中旬より 3 月末まで、一部の発声を伴うグループレッスンの休講措置を行った。

(2)附属ピアノアートアカデミー

附属ピアノアートアカデミーは、音楽家を志す人の技術や表現力の向上のみならず、各々の個性がさらに輝き、ステージに生かされるための人間性を養うことにも重点を置き、真に魅力あふれる音楽家の育成を目的として開設された。2020年度時点では小学生から本学の卒業生まで、幅広い年齢層の人たちが各地から通っており、在籍生は同じ目標を持つ人同士、和気あいあいとした雰囲気の中で交流を深め、お互いに刺激しあいながら日々学んでいる。江口文子主任教授が中心となって指導を行うこととその実績により、現在では本邦を代表する教育機関として国際的に知られるようになった。昭和音楽大学・同短期大学部において学修機会を得たい学生の増加やその質の向上に寄与している。

2020年度においてはショパン国際ピアノコンクール（ワルシャワ）予備予選及び本選への出場の権利を持っている在籍者が世界的に最も多い教育機関として注目され、コロナ禍でありながらコンサート、メディア出演が多く充実した活動を行うことが出来た。

2021年度においては2021年10月、第18回ショパン国際ピアノコンクール（ワルシャワ）で古海行子がセミファイナリストとなった。また、2022年1月、ショパン国際ピアノコンクール in ASIA プロフェッショナル部門では田久保萌夏が金賞受賞等、コロナ禍でありながらも国際コンクールでの実績も多く充実した活動を行うことが出来た。

●2021年度の主な活動内容

- ・特別演奏コース：定期的に個人レッスン、ソルフェージュクラス、海外講師によるオンラインでのレッスンを実施した。
- ・総合コース：月1回のレッスンやクラス授業を実施した。小学生～高校生を対象にピアノ個人レッスン、ソルフェージュレッスン、感性と教養を養うためのクラスのほか、3月には成果発表会も開催した。
- ・研究コース：レッスン、アンサンブル、ソルフェージュ、キャリア形成の支援を行った。
- ・プレビュー・アカデミー：2021年12月26日～27日の2日間、小学2年生～高校2年生を対象に開催。ピアノの個人レッスンに加え、参加者全員で学ぶ音楽講座、成果発表の場として学内のユリホールでの成果発表コンサートを実施。全国各地から受講生が来場した。
- ・2021年度における在籍者のコンサート出演：コロナ禍で昨年度に引き続き多くのコンサートが中止、延期となったがその中でも在籍者のコンサートへの出演は30回を超えている。主な出演内容については次の通り。

2021/4/4 2021 四季のコンサート牛田智大ピアノリサイタル@アクトティ浜松中ホール
 2021/4/7 サロンコンサート in Ginza Vol.3@ヤマハコンサートサロン
 2021/4/10 ミューザ川崎シンフォニーホール&東京交響楽団名曲全集第 166 回
 @ミューザ川崎
 2021/4/10 2021 若きアーティストたちの響演@ユリホール
 2021/4/17 第 16 回まちだフレッシュコンサート@町田生涯学習センター
 2021/4/24 ホリデー・ブランチ・クラシック @eplus LIVING ROOM CAFE & DINING
 2021/5/2 かながわ音楽コンクールゲスト@県立音楽堂
 2021/5/4 Marunouchi GW Festival オンライン音楽祭@丸ビル 1 階マルキューブ
 2021/5/27 ショパン・フェスティバル 2021 in 表参道@カワイ表参道パウゼ
 2021/6/18 古海行子ピアノリサイタル@カワイ表参道パウゼ
 2021/6/20 日本センチュリー交響楽団のメンバーとの室内楽演奏会
 @いかるがホール小ホール
 2021/6/22 古海行子ピアノリサイタル@カワイ梅田コンサートサロンジュエ
 2021/6/27 どりーむコンサート Vol.117@府中の森芸術劇場どりーむホール
 2021/7/2 ニューアーティストシリーズ・ランチタイムコンサート@カワイ表参道パウゼ
 2021/7/3 牛田智大ピアノリサイタル@谷山サザンホール
 2021/7/4 リサイタル・シリーズ Vol.27 牛田智大ピアノリサイタル@鎌倉芸術館
 2021/7/22 ジョイント・リサイタル@カワイ梅田コンサートサロンジュエ
 2021/8/21 ローム・ミュージック・ファンデーションスカラシップコンサート Vol.27
 @京都府立府民ホール アルティ
 2021/9/1 日本ピアノ調律師協会 第 22 回新人演奏会@東京文化会館小ホール
 2021/9/7 牛田智大ピアノリサイタル@豊中市立文化芸術センター大ホール
 2021/9/9 ライフサイクルコンサート 雄大と行く 昼の音楽さんぽ@第一生命ホール
 2021/9/11 牛田智大ピアノリサイタル@ふくしん夢の音楽堂 (福島市音楽堂)
 2021/9/19 イケピア☆KIDS コン서트 in Sunshine City@サンシャインシティ
 2021/10/3 サンデー・ブランチ・クラシック@eplus LIVING ROOM CAFE & DINING
 2022/12/4 古海行子ピアノリサイタル@浜離宮朝日ホール
 2022/12/19 第 45 回ピティナピアノコンサート@下諏訪総合文化センター
 2022/2/4 ニューアーティストランチタイムコンサート@カワイ表参道パウゼ
 2022/2/27 ヤマカズフレンズ Vol.5@山形テルサホール
 2022/3/19 春の東京シティ音楽会 ドラマチック・クラシック・フェスティバル
 @東京オペラシティコンサートホール
 2022/3/20 第 45 回ピティナ・ピアノコンペティション入賞者ガラコンサート
 @第一生命ホール

学校法人東成学園 中長期計画2020-2024 2021年度進捗報告

具体的な取組み事業	2021 計画	2021 実績	達成	行動計画 (アクションプラン)	アクションプラン細分	2021年度進捗状況				
						20 20	20 21	20 22	20 23	20 24
プロジェクト① 教育の質の向上										
A 教育課程の改革										
カリキュラムの見直し	50%	25%	▼	文理融合科目、STEAM科目、創造性を育成する教育、データサイエンス教育の導入						ブレインストーミング、会議を計6回実施。本プロジェクトを教育課程委員会の下に創造性育成科目作業部会として設置した。数理・データサイエンスセミナーへ参加した。2022年度に第1回特別講座を行うことを検討し、新年度の教育課程委員会に上程した。
アカデミックカレンダーの見直し	30%	25%	▼	アカデミックカレンダーの見直し						プロジェクトチームを編成し(+西海)、学期制の理解促進、事例研究、シミュレーションを実施した。また、カリキュラム改定の研究、検討を実施した。懸念要素の洗い出しや、他大学の事例の検討に時間を要する。
B 教育手法の改善										
ICT教育の推進	50%	50%	△	Society 5.0時代の音楽、舞台芸術のための教育・研究環境づくり	①A/B/C棟の1F～6Fに必要な設備品の設置					学内における無線ネットワークの完備はほぼ100%となった。また、什器やAV機器、出席管理システムは2022年度に補助金対象となる可能性があるため、2022年度に実施予定。ただし補助金の募集が一部前倒しで有ったため、南校舎3教室(A313、A315、A319)分先行して導入を実施した。
アクティブラーニングの推進	50%	50%	△		②電子媒体教材(コンテンツ)の充実と発展					2022年度より電子媒体教材(コンテンツ)が利用できるようにコンテンツの開発を実施した。
オンライン学修の推進	50%	50%	△		③ICTとオンライン教育、アクティブラーニングに活かす授業の一部をカリキュラム化					前年度に定義したメディア授業を実施した。また、前期に実施したメディア授業の教員・学生に時間割作業部会よりアンケートを実施・集計後に教育課程委員会にて来年度に向けての打合せを実施した。
C 学修支援の強化										
学生支援センターの設置	60%	35%	▼	学生支援センターの設置						人員の適正人数・配置等の検討について、学務部長、総務部長の相互交代により、より具体的に検討できる体制とした。資格等の検討については、学務部長、総務部長の相互交代、立場が違う観点から学生支援について今後俯瞰していく。また教務課を担当する学務部長が学生課長を兼務し、より連携できる配置とした。新たな組織改編が教育の質の向上へ繋がっているかのシミュレーションおよび検証は未達。
練習室の活用	50%	50%	△	練習室の活用						2020年度における南校舎練習室の貸出システム本番稼働を受け、学生からのメールでの問い合わせ、学生との意見交換会での意見等を参考に、運用上の問題点を洗い出し、分類・整理し、対応の可能性、費用対効果等を検討し、修正を行っている。システム対応で補えない問題に関しては、運用ルールの見直しを実施した上で、クラス全体会ポータルサイト等を利用して、周知徹底を図っている。南校舎の練習室以外の施設についての効率化については、年度の後半で検討をおこなった。
施設設備の充実	43%	20%	▼	施設設備の充実	①施設見える化リブレットの作成					コロナ禍への対応で教室の設備の導入を進めており、リレット作成は先送りしたい。北校舎周辺の開発計画について着手されていないため改修し、中長期の運用を前提とする必要有。
					②改善提案書を作成					施設利用状況把握のためのプロジェクトを設置。
					③採択された提案を実施					ユリホールに関してはプロジェクトを発足し、改修を一部先行して実施した。
施設設備の充実・練習室の活用	202 2 新規			施設設備の充実					アクションプラン7～10を統合し、新規アクションプランとする。2022年度において、施設設備の管理体制の確立、改修及びアメニティー環境の充実を進めるためのプロジェクトを発足する事とし、計画の変更をおこないたい。	
D キャリア教育の充実										
キャリア教育の充実	67%	80%	△	キャリア教育の充実						カリキュラムとして設定されている科目の見直しについて、水曜日開講授業のオンデマンド化を検討したが、従来通りの運用とする事にした。支援講座の見直しについて、学部3年・修士1年・短大1年生向けの講座として新規に卒業後のキャリアを描くための講座を2022年度に新たに開催する事とした。海外留学支援策として2022年度は留学のための基礎知識講座の時期を早めて開催する事とした。企業アンケート・卒業生アンケートの検証・分析を実施した。キャリア支援の充実をはかるために「キャリアコンサルタント」の資格取得を行った。

具体的な取組み事業	2021 計画	2021 実績	達成	行動計画 (アクションプラン)	アクションプラン細分	2021年度進捗状況				
						20 20	20 21	20 22	20 23	20 24
プロジェクト② 成長戦略の推進										
A 学生募集の強化										
学生募集の強化	53%	46%	▼	学生募集専用システムの導入、入試制度の見直し、学生募集イベントの充実	①学生募集専用システムの導入	→	マイナビの「アクセス進学オンライン」を2022年度から導入を正式決定した。正式稼働は2022年6月から(4~6月はデータ移行期間)となるので、2022年度は既存のシステムと併用していく。稼働時期がずれた事により達成度は50%としている。			
					②入試制度の見直し	→	学力の3要素の評価方法を可視化し入試要項に掲載するだけでなく、一般選抜の一般科目に小論文を加え、評価の観点等を明示し、受験生の選択の幅を持たせることができた。また、この取り組みにより改革総合支援事業の要件にも適合する事となった。			
					③学生募集イベントの充実	→	対面とオンラインの併用を昨年度から引き続き実施することで参加者の選択の幅を持たせることができた。また今年度は模擬授業もオンラインで参加できるよう工夫した。参加者数が増加していないため、目標に達したとは言えない。			
B 社会連携、大学間連携の推進										
社会連携、大学間連携の推進	60%	60%	△	社会連携、大学間連携の推進	→	社会連携・大学間連携の既存事業の見直しについて、関連部署を新設した(地域連携推進室・国際交流推進室)。新規事業の運用開始については、改革総合支援事業タイプ3(地域連携型)の各要件に積極的に取り組んだ(前年比5点アップ)。翌年度に向け新規事業の準備をおこなう。				
C 新たなコース・プログラムの開発										
新たなコース・プログラムの開発	26%	30%	△	大学・短大・大学院の新コースの開発、教育課程外での新しいプログラムの開発	①教育課程内の新コースの検討および運用開始	→	大学/短大においては「ポップ&ロックミュージック」を、大学院においては「ジャズ&コンテンポラリーミュージック」を2023年度から正式に運用することを学内決定し、ガイドブックへ反映することができた。			
					②教育課程外の新プログラムの検討および運用開始	→	合格者の入学辞退率が上がっているため、入学前の教育コンテンツの必要性を部内で共有した。2022年度に着手する。			
	40%	70%	△	附属教室の新コース立ち上げ	→	<p>・2021年度に立ちあげた新コースの実績は当初の収入予定額1,650,000円を上回る2,543,070円であった。(目標比約154%)</p> <p>【新コース実績内訳】</p> <p>弦楽アンサンブルJr.: 13名/535,320、アダージョ: 7名/908,320、オンライン弦・管・鍵盤: 14名/646,300、オンライン作曲: 1名/97,080、オンライン声楽: 8名/261,700、オンラインPOP理論: 1名/52,830、オンライン発声からはじめる歌謡曲: 2名/41,520</p> <p>・生徒獲得状況は以下の通り。</p> <p>春募集の入室者…4月入室171名、5月入室112名、6月入室77名 計: 360名獲得。 推定実績@5,500×360=1,980,000(目標比約300%)</p> <p>秋募集の入室者…10月入室91名、11月入室76名、12月入室35名 計: 202名獲得。 推定実績@5,500×202=1,111,000(目標比約112%)</p> <p>※入室者はコース変更者を除く、純粋入室者</p>				
D 「本学ならではの価値」の明確化										
「本学ならではの価値」の明確化	50%	30%	▼	「面倒見の良い大学」の見える化	→	本学の価値の洗い出し(入試広報室が中心となって打合せを開催)については、成果として2021年度のガイドブックの請求数は最高値だった2019年度の請求数(11,782)を超え過去最大の資料請求(11,785)となった。イベントの参加者は増えていないが、減ってもない状況である。各音大へのアンケート実施は見送る。				

具体的な取組み事業	2021 計画	2021 実績	達成	行動計画 (アクションプラン)	アクションプラン細分	20 20	20 21	20 22	20 23	20 24	2021年度進捗状況
プロジェクト③ 教職員すべてが能力を発揮できる環境の醸成											
A 人事制度改革											
人事制度改革	40%	15%	▼	人事制度改革							前期については中間報告の通り、コロナ対応等で十分な対応が出来なかった。後期については人事異動があり、まず現業務を滞りなく回しながら現状の仕組みを把握することに重点を置いたため、新たな制度導入のための取り組みに十分な時間は取れなかった。改めて2022年度より「企業・他大学の目標管理制度の情報を問題点を含め収集すること」に取り組む。
B 業務の効率化											
業務の効率化	33%	33%	△	業務の効率化							事務会議・学園運営委員会メンバーのうちノートPC非所有者にノートPCの配布、及び会議用貸出タブレットの準備が完了した。事務会議・学園運営委員会にてペーパーレスでの会議を2022年1月より開始した。
C 「研究」「研修」時間と機会の拡充											
「研究」「研修」時間と機会の拡充	25%	25%	△	「研究」「研修」時間と機会の拡充							関連部署が新設(経営戦略室・ICT推進室)。「業務の効率化」に向け、本年度中のワークフローシステムの導入準備に着手した。「人事制度改革」に向けた準備に着手した。2021年度第2回FD研修会(9月1日開催)にて授業等におけるICT実践例を取り上げた。SD研修会(9月3日開催)にて、ワークフローシステムの導入と業務改善についてのトピックを取り上げた。
プロジェクト④ 安定的な財務基盤の確保、IR(インスティテューショナル・リサーチ)の活用											
A PDCAサイクルに基づいた「選択と集中」による事業の見直し											
PDCAサイクルに基づいた「選択と集中」による事業の見直し	20%	20%	△	収支分析を軸とした、各事業の効果検証							キャッシュレス化に向けて、運営補助員への支払いを銀行振り込みにした。引き続きイタリア研修所の検証、光熱費の検討、テアトロ・ジューリオ・ショウワ・オーケストラ、音楽教室の経営改善をおこなった。さらに会議のペーパーレス化に着手して経費削減の要素を追加した。また、施設稼働率の分析に着手し、分析に必要なデータ築盛の課題を明確にした。
B IR機能の強化											
IR機能の強化	50%	50%	△	IR機能の強化							IR組織を正式に発足、運用開始…IRプロジェクトを継続運用した。また「IRに関する規程」にて組織の位置づけを明示した。データ管理に関する学内規程を検討・策定…IRプロジェクト内で①学内におけるIR組織の検討、②学内規程の整備、③「IRデータカタログ」「IRレポートカタログ」作成について検討した。また「IRに関する規程」を策定した。
プロジェクト⑤ 組織の活性化											
A ガバナンスの強化											
ガバナンスの強化	40%	40%	△	学内規程の整備と強化							ガバナンス・コードと実際の活動の検証をおこない、点検評価委員会および内部質保証委員会にて検証の確認をおこなった。内容等の修正も含め報告書を作成し、ホームページにて公開した。
B UD、BD、FD、SDの推進											
UD、BD、FD、SDの推進	60%	55%	▼	UD、BD、FD、SDの推進							FD(達成度60%)…第2回FD合同研修会において従来のオンデマンド型配信による参加形式に加え、Youtubeのリアルタイム配信を導入し当日参加者の安全を確保しながらの研修運営に対応した。また3月1日のFD研修会ではブレイクアウトルームを使用して教職員の意見交換の場を設け、時代の流れに沿った研修体系を確立することができた。 SD(達成度60%)…3部署連携してSDチームを発足し、既存のSD研修の見直し及び体系的なSD研修実施に向けて検討をおこなった。また個人研修としてオンライン研修を導入に向けて検討をおこなった。 BD(達成度50%)…BD研修の推進に向け、本学の理事・評議員全員に対して私学法改正に係る外部研修会(2021年11月中旬開催)への参加を案内し、希望者に参加をいただいたが、参加人数は半数ほどだったため2021年度の達成目標は未達とした。 ※2022年度より達成度は全体からFD、SD、BDそれぞれに設定する。
C 学生の大学運営への参加											
学生の大学運営への参加	30%	30%	△	学生の大学運営への参加							大学院生をTAとして積極的に採用し、授業運用に関わる機会を提供。リブサポ制度により大学生が図書館運営に関わる機会を提供した。学生代表と運営責任者等との懇談会により、学生の意見を吸い上げ、大学運営の改善を検討した。

資金収支の状況

(財務に関する中長期計画)

収入の部

科 目	決算		決算		補正予算		予算書より				(単位：千円)
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
学生生徒等納付金収入	2,819,171	2,858,566	2,950,666	3,162,521	3,218,546	3,159,431	3,032,255	2,921,895	2,858,535	2,890,835	
手数料収入	28,463	28,948	31,114	28,127	27,173	27,171	27,171	27,171	27,171	27,171	
寄付金収入	9,574	14,631	1,654	1,081	7,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	
補助金収入	334,662	366,314	355,137	384,792	319,081	313,525	313,525	313,525	313,525	313,525	
資産売却収入	1,104,734	1,009,879	1,084,983	611,875	204,864	202,134	202,134	202,134	202,134	202,134	
付随事業・収益事業収入	584,938	638,645	547,052	480,285	542,111	550,827	550,827	550,827	550,827	550,827	
受取利息・配当金収入	11,552	7,933	4,412	4,989	3,737	2,373	2,373	2,373	2,373	2,373	
雑収入	90,611	159,571	141,242	85,277	108,323	113,245	153,894	119,532	109,262	60,327	
前受金収入	705,274	776,695	853,111	766,548	714,057	701,467	672,036	657,463	664,892	671,396	
その他の収入	472,526	137,106	216,398	185,044	148,104	170,634	199,226	252,201	167,839	157,569	
資金収入調整勘定	△ 779,560	△ 839,749	△ 887,909	△ 932,298	△ 868,549	△ 818,716	△ 810,663	△ 781,241	△ 756,398	△ 714,892	
経常的収入小計	5,381,945	5,158,539	5,297,860	4,778,242	4,424,747	4,424,391	4,345,078	4,268,180	4,142,460	4,163,565	
前年度繰越支払資金	3,275,363	3,220,448	3,436,865	3,542,058	4,283,359	4,301,269	4,337,765	4,561,446	4,452,365	4,633,595	
収入の部合計	8,657,308	8,378,987	8,734,725	8,320,300	8,708,106	8,725,660	8,682,843	8,829,626	8,594,825	8,797,160	

支出の部

科 目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
人件費支出	2,145,641	2,217,902	2,222,776	2,156,193	2,218,829	2,231,732	2,264,111	2,219,433	2,204,310	2,151,484
教育研究経費支出	820,829	807,311	867,277	794,132	859,825	851,681	801,053	794,948	791,458	792,913
管理経費支出	589,564	545,397	596,802	513,942	593,915	590,698	561,163	530,047	505,047	505,047
借入金等利息支出	29,977	26,072	22,167	18,262	14,358	10,453	6,547	2,642	548	0
借入金等返済支出	189,540	189,540	189,540	189,540	189,540	189,540	189,540	189,540	22,880	0
施設関係支出	100,344	562	24,378	29,378	8,075	51,945	50,000	50,000	50,000	50,000
設備関係支出	132,915	28,836	252,119	109,228	258,741	206,971	98,242	231,982	132,282	216,482
資産運用支出	1,400,001	1,100,000	860,751	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000
その他の支出	230,047	248,190	278,933	186,957	209,817	206,994	206,824	310,788	206,824	206,824
資金支出調整勘定	△ 201,998	△ 221,688	△ 122,076	△ 160,691	△ 146,263	△ 152,119	△ 256,083	△ 152,119	△ 152,119	△ 152,119
経常的支出小計	5,436,860	4,942,122	5,192,667	4,036,941	4,406,837	4,387,895	4,121,397	4,377,261	3,961,230	3,970,631
翌年度繰越支払資金	3,220,448	3,436,865	3,542,058	4,283,359	4,301,269	4,337,765	4,561,446	4,452,365	4,633,595	4,826,529
支出の部合計	8,657,308	8,378,987	8,734,725	8,320,300	8,708,106	8,725,660	8,682,843	8,829,626	8,594,825	8,797,160

事業活動収支の状況

(財務に関する中長期計画)

(単位:千円)

科 目		決算	決算	決算	決算	補正予算	予算書より					
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
教育活動収支	収入の活動	学生生徒等納付金	2,819,171	2,858,566	2,950,666	3,162,521	3,218,546	3,159,431	3,032,255	2,921,895	2,858,535	2,890,835
		手数料	28,463	28,948	31,114	28,127	27,173	27,171	27,171	27,171	27,171	27,171
		寄付金	9,574	14,631	1,654	1,081	7,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300
		経常費等補助金	334,662	366,314	355,137	384,792	313,081	298,525	298,525	298,525	298,525	298,525
		付随事業収入	584,938	638,645	547,052	480,285	542,111	550,827	550,827	550,827	550,827	550,827
		雑収入	90,658	162,239	141,314	85,754	108,263	113,185	153,834	119,472	109,202	60,267
		教育活動収入計	3,867,466	4,069,343	4,026,937	4,142,560	4,216,474	4,151,439	4,064,912	3,920,190	3,846,560	3,829,925
	支出の活動	人件費	2,151,132	2,213,213	2,405,563	2,143,860	2,196,771	2,214,281	2,222,170	2,178,480	2,171,930	2,151,484
		教育研究経費	1,137,034	1,120,459	1,195,931	1,141,466	1,184,411	1,111,740	1,075,938	1,076,905	1,059,031	1,068,222
		管理経費	688,677	647,865	697,452	608,430	683,075	663,984	644,136	615,156	585,811	588,148
		徴収不能額等	0	0	87	0	0	0	0	0	0	0
		教育活動支出計	3,976,843	3,981,537	4,299,033	3,893,756	4,064,257	3,990,005	3,942,244	3,870,541	3,816,772	3,807,854
	教育活動収支差額		△ 109,377	87,806	△ 272,096	248,804	152,217	161,434	122,668	49,649	29,788	22,071
	教育活動外収支	収入の活動	受取利息・配当金	11,552	7,933	4,412	4,989	3,737	2,373	2,373	2,373	2,373
その他の教育活動外収入			9	3	12	24	60	60	60	60	60	60
教育活動外収入計			11,561	7,936	4,424	5,013	3,797	2,433	2,433	2,433	2,433	2,433
支出の活動		借入金等利息	29,977	26,072	22,167	18,262	14,358	10,453	6,547	2,642	548	0
		その他の教育活動外支出	38	9	68	10	60	65	65	65	65	65
		教育活動外支出計	30,015	26,081	22,235	18,272	14,418	10,518	6,612	2,707	613	65
教育活動外収支差額		△ 18,454	△ 18,145	△ 17,811	△ 13,259	△ 10,621	△ 8,085	△ 4,179	△ 274	1,820	2,368	
経常収支差額		△ 127,831	69,661	△ 289,907	235,545	141,596	153,349	118,489	49,375	31,608	24,439	
特別収支	収入の活動	資産売却差額	3,065	2	3,450	22,658	4,864	2,134	2,134	2,134	2,134	2,134
		その他の特別収入	4,726	1,780	1,617	2,041	9,319	17,495	2,495	2,495	2,495	2,495
		特別収入計	7,791	1,782	5,067	24,699	14,183	19,629	4,629	4,629	4,629	4,629
	支出の活動	資産処分差額	1,734	53,416	240,352	5,770	1,334	3,881	5,200	5,200	5,200	5,200
		その他の特別支出	4,018	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		特別支出計	5,752	53,416	240,352	5,770	1,334	3,881	5,200	5,200	5,200	5,200
特別収支差額		2,039	△ 51,634	△ 235,285	18,929	12,849	15,748	△ 571	△ 571	△ 571	△ 571	
基本金組入前当年度収支差額		△ 125,792	18,027	△ 525,192	254,474	154,445	169,097	117,918	48,804	31,037	23,868	
基本金組入額合計		△ 384,379	△ 153,591	0	△ 258,811	△ 398,310	△ 385,949	△ 317,782	△ 328,313	△ 185,162	△ 246,482	
当年度収支差額		△ 510,171	△ 135,564	△ 525,192	△ 4,337	△ 243,865	△ 216,852	△ 199,864	△ 279,509	△ 154,125	△ 222,614	
前年度繰越収支差額		△ 2,806,170	△ 3,316,341	△ 3,451,905	△ 3,640,485	△ 3,644,822	△ 3,888,687	△ 4,105,539	△ 4,305,403	△ 4,584,912	△ 4,739,037	
基本金取崩額		0	0	336,612	0	0	0	0	0	0	0	
翌年度繰越収支差額		△ 3,316,341	△ 3,451,905	△ 3,640,485	△ 3,644,822	△ 3,888,687	△ 4,105,539	△ 4,305,403	△ 4,584,912	△ 4,739,037	△ 4,961,651	
(参考)												
事業活動収入計		3,886,818	4,079,061	4,036,428	4,172,272	4,234,454	4,173,501	4,071,974	3,927,252	3,853,622	3,836,987	
事業活動支出計		4,012,610	4,061,034	4,561,620	3,917,798	4,080,009	4,004,404	3,954,056	3,878,448	3,822,585	3,813,119	